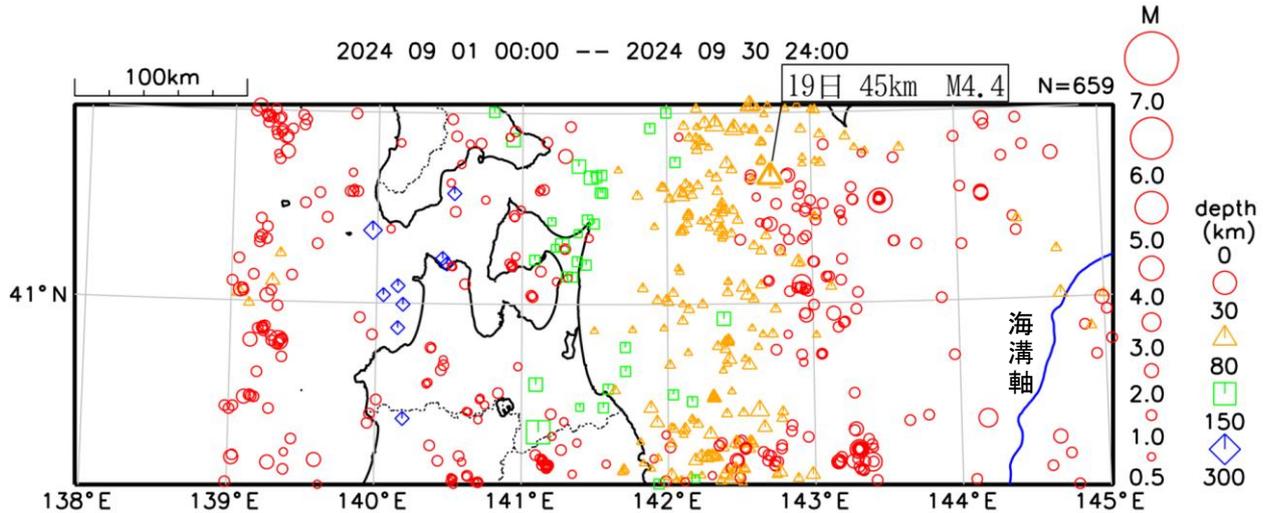


青森県月間地震概況

2024年9月

青森地方気象台

震央分布図



震央：震源（地下の岩盤破壊が最初に始まった点）の真上に向かって地表に投影した点
M（マグニチュード）：地震の規模

吹き出しをつけた地震は概況で取り上げたもの。

【9月の地震概況】

この期間、青森県とその周辺を震源とする地震の回数は659回、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は7回であった。

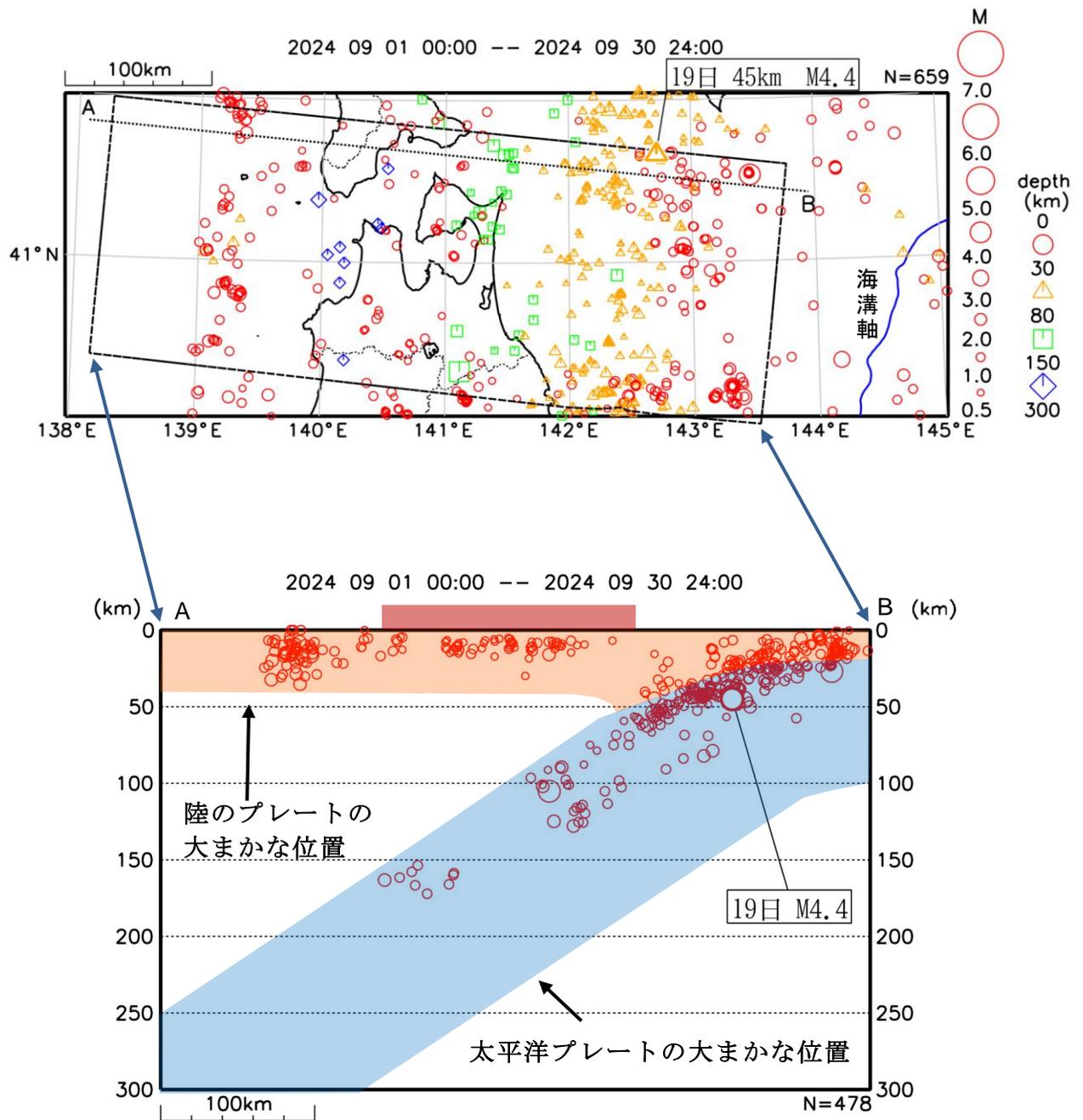
19日06時33分に浦河沖の深さ45kmでM4.4の地震が発生し、北海道と青森県で震度2～1を観測した。県内では、東通村で震度2を観測するなど、三八上北と下北の太平洋側で震度2～1を観測した。

26日16時01分に釧路沖の深さ59km（図の範囲外）でM5.7の地震が発生し、北海道で震度4を観測したほか、北海道や東北地方（秋田県、山形県を除く）、茨城県で震度3～1を観測した。県内では、八戸市や東通村などで震度2を観測するなど、津軽北部及び津軽南部の一部を除く県内のほぼ全域で震度2～1を観測した。この地震は太平洋プレートの内部で発生した。

各地の震度の詳細については「青森県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。

地震の震源要素及び震度データは、再調査により変更することがある。

断面図（震央分布図内の破線領域内のA点からB点の断面における震源の深さ）



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのものが多いと考えられる。

青森県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2024年9月1日～2024年9月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2024年09月06日22時12分	青森県下北地方	41° 17.4' N	141° 17.7' E	8km	M1.8
青森県	震度 1 : 東通村砂子又沢内*				
2024年09月08日07時51分	三陸沖	39° 51.5' N	143° 09.4' E	18km	M4.7
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 三沢市桜町* 七戸町森ノ上* 六戸町犬落瀬* 東北町上北南* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田* むつ市大畑町中島* 東通村砂子又沢内*				
2024年09月09日16時17分	青森県三八上北地方	40° 19.8' N	141° 06.9' E	105km	M4.1
青森県	震度 2 : 八戸市南郷* 青森南部町苫米地* 震度 1 : 八戸市島守 八戸市湊町 八戸市内丸* 七戸町森ノ上* 東北町上北南* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂*				
2024年09月14日13時46分	十勝地方中部	42° 46.6' N	142° 47.0' E	101km	M3.7
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 階上町道仏*				
2024年09月19日06時33分	浦河沖	41° 39.8' N	142° 43.0' E	45km	M4.4
青森県	震度 2 : 東通村砂子又沢内* 震度 1 : 八戸市湊町 八戸市南郷* 三沢市桜町* 七戸町森ノ上* 六ヶ所村尾駸 五戸町古館 青森南部町苫米地* 青森南部町平* むつ市金曲 東通村砂子又蒲谷地 東通村尻屋*				
2024年09月21日17時45分	青森県東方沖	41° 34.2' N	142° 05.5' E	54km	M3.7
青森県	震度 2 : 東通村砂子又沢内* 震度 1 : 東通村砂子又蒲谷地				
2024年09月26日16時01分	釧路沖	42° 46.6' N	145° 06.7' E	59km	M5.7
青森県	震度 2 : 八戸市南郷* 野辺地町田狭沢* 七戸町森ノ上* 東北町上北南* 五戸町古館 階上町道仏* 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内* 震度 1 : 青森市花園 青森市中央* 青森市浪岡* 五所川原市金木町* 平内町小湊 蓬田村蓬田* つがる市柏* 外ヶ浜町蟹田* 中泊町中里* 藤崎町西豊田* 藤崎町水木* 八戸市湊町 八戸市内丸* 十和田市西二番町* 十和田市西十二番町* 十和田市奥瀬* 三沢市桜町* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 横浜町林ノ脇* 横浜町寺下* 東北町塔ノ沢山* 六ヶ所村尾駸 六ヶ所村出戸 三戸町在府小路町* 五戸町倉石中市* 青森南部町沖田面* 青森南部町苫米地* 青森南部町平* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂* むつ市金曲 むつ市川内町*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は青森県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

11月5日に緊急地震速報の訓練を行います

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間をごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには日頃からの訓練が重要です。この機会に身を守る行動を実践してみましよう。

◆訓練実施日時

令和6年11月5日（火）10時00分頃（気象庁からの訓練用緊急地震速報の配信時刻）

気象庁は訓練の実施を計画している機関や団体等に対して訓練用の緊急地震速報（予報および警報）を配信しますが、基本的には、テレビやラジオ、携帯電話（緊急速報メール/エリアメール）で訓練用の緊急地震速報が放送又は報知されることはありません。

※ 気象・地震活動の状況等によっては、訓練用の緊急地震速報の配信を急きょ中止する場合がありますので、御了承ください。中止を決定した場合には、速やかに気象庁ホームページ等でお知らせします。

◆参加機関等

国の機関、地方公共団体、学校、民間企業等、個人

お住まいの自治体の防災行政無線や商業施設などで緊急地震速報が放送される場合があります。自治体からのお知らせ、気象庁ホームページ等でご確認ください。

◆訓練の方法

訓練参加機関（国の機関、地方公共団体、学校、民間企業等）が行う緊急地震速報の放送・報知にあわせて、安全な場所に移動するなどの身の安全を守る行動訓練を行います。訓練参加機関のホームページや広報誌などのお知らせをご確認いただくとともに、積極的に訓練へご参加ください。

◆緊急地震速報訓練と連携したシェイクアウト訓練も実施されます

「効果的な防災訓練と防災啓発提国会議」（日本シェイクアウト提国会議）では、今回の訓練に合わせた全国的なシェイクアウト訓練の実施について呼びかけを行っています。

指定された日時に、地震から身を守るための3つの安全確保行動

「①まず低く、②頭を守り、③動かない」

を各人がいる場所（職場、学校、外出先等）で約1分間行うというものです。



3つの安全行動

（提供 効果的な防災訓練と防災啓発提国会議）

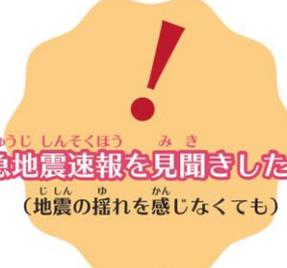
もし、あなたが〇〇の時に地震が発生したらどうしますか？

そのとき、あなたの身を守るために、シェイクアウト訓練に参加しましょう！

- 効果的な防災訓練と防災啓発提国会議「津波防災の日 緊急地震速報シェイクアウト訓練」
<https://www.shakeout.jp/event/zenkokukunren/>
- 気象庁ホームページ「緊急地震速報の訓練（令和6年11月5日）」
<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/2024/kunren.html>

◆緊急地震速報を見聞きしたらどうすればいいのか？

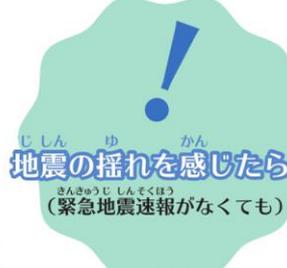
緊急地震速報を見聞きしたら、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてず、まず身の安全を確保する」ことが基本です。周囲の状況により具体的な行動は異なります。日頃からいざというときの行動を考えておきましょう。



緊急地震速報を見聞きしたら…
(地震の揺れを感じなくても)

周囲の状況に応じて

あわてず、 まず身の安全を!!



地震の揺れを感じたら…
(緊急地震速報がなくても)



家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない





鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる





エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる





屋外(街)では

- ブロック塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意





自動車運転中は

- 急ブレーキはかけずゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす



気象庁リーフレット「新しい緊急地震速報～長周期地震動階級の子想も追加して発表～」より

・気象庁ホームページ「緊急地震速報について」

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/index.html>

11月5日は津波防災の日です

「津波防災の日」とは、平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓とした「津波対策の推進に関する法律（2011年6月制定）」により、津波対策についての理解と関心を深める目的として定められた日です。

江戸時代（安政元年11月5日）の「安政南海地震」（M8.4）で、稲に火をつけて、暗闇の中逃げ遅れていた村人たちを高台に避難させて命を救ったとされる「稲むらの火」の逸話にちなんで、11月5日を「津波防災の日」としています。

津波は迅速かつ適切な避難により人的被害を大きく軽減できる災害です。このため、国民一人一人が津波の特性を理解し、命を守る行動を適切にとりていただくことがとても重要です。

津波への備えについて考えるきっかけとして、全国各地で「津波防災の日」に関する各種イベントや津波避難訓練も実施されますので、ぜひご参加ください。



内閣府 11月5日は「津波防災の日」「世界津波の日」のページより

- ・内閣府ホームページ 11月5日は「津波防災の日」「世界津波の日」
https://www.cao.go.jp/press/new_wave/20231027.html
- ・気象庁ホームページ「稲むらの火」
<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/tsunami/inamura/p1.html>
- ・内閣府ホームページ「稲むらの火と津波対策」
<https://www.tokeikyou.or.jp/bousai/inamura-top.htm>